



特産大豆で6次産業化 元気な京北を目指しています

((有)山国さきがけセンター)

4頁に詳細記事

増加傾向にあるミナミアオカメムシ

◇ ミナミアオカメムシとは

水稻や豆类、野菜類などに寄生し、水稻では穂を吸汁して斑点米の原因となります。京都府では、平成22年に伏見区向島や淀、久御山町の水稲で初めて確認され、その後も生息範囲が広がっています。

(写真1)



写真1 稲穂に群がるミナミアオカメムシ幼虫

◇ 管内での発生状況

初確認以降、南区や乙訓郡でも発生を認め、ナスやダイズ、カラシナ類の雑草でも発生を認めています。

水稻では、穂が黄化し収穫が近づいた頃に発生が多くなり、慣行のカメムシ防除と時期がずれるため、効果的な防除があまり行われていません。(写真2)



写真2 黄化した穂を吸汁するミナミアオカメムシ成虫

◇ 普及センターの活動

J A 京都中央や病害虫防除所と連携し、すくい取り調査やフェロモントラップ調査、越冬調査を行いました。

その結果、調査を開始した7月上旬からフェロモントラップへの誘引が見られ、すくい取り調査では8月下旬から捕獲虫を認めました。越冬調査では、南向きで日当たり

りの良い場所に置かれた資材の隙間などで、越冬成虫を確認しました。(写真3, 4, 5)



写真3 色がくすんでいる越冬中の成虫



写真4
水盤式のフェロモントラップ調査



写真5
捕虫網を使ったすくい取りによる発生消長調査

◇ これからの防除に向けて

普及センターでは、水稻での防除体系の確立を目指して、引き続き関係機関と連携した調査を行います。

現在、板を重ねた越冬場所に成虫を放飼し、日当たりや温度による生存率の調査を行っています。(写真6)

調査結果を参考に、越冬しそうな場所にも注意していただき、発生密度の抑制につながればと考えています。



写真6 板を重ねた「越冬場所」を設置して越冬調査

やっかいな病気 = 植物ウイルス病



キュウリモザイク病

春先は、低温・高湿度で灰色かび病や各種細菌病などの病気が発生し、一方、高温・乾燥ではアブラムシ、コナジラミ、アザミウマやハダニなどの害虫の発生が多くなります。

なかでもアブラムシなどにより媒介される植物のウイルス病は、防除がやっかいで、散布すれば効くといった薬剤がなく、一旦ウイルス病が発生すると周囲に広がらないように、発病した株を早めに抜き取って処分するしかありません。

感染予防としてはウイルスを媒介するアブラムシなどを防除することですが、アブラムシが口針を植物に差し込むだけでも感染します。アブラムシを退治しても感染を防げないことがあります。

このため銀色のシルバーマルチなど、アブラムシの嫌いな反射光を利用して近づけない工夫も大切です。

アブラムシは多くの植物に寄生しますが、これらのなかには雑草も含まれます。ほ場周辺の雑草管理が不十分な場合、雑草がアブラムシ等の害虫の発生源になるので、害虫を発生させない、持ち込まない環境づくりが最も重要です。

また、ウイルスは、整枝や収穫などに使用するハサミを通して汁液伝染する可能性があることから、ハサミを消毒したり、発病の疑いのある株の作業は後回しにするなどの対策も必要です。

地域で大活躍

「頼れる農業士さん」

渡邊 幸浩さん

旬にこだわって京の文化と地域を守る

京都市山科区の渡邊さんは、水稻・野菜・ブドウを生産し、祇園・東山周辺などで振り売りをされ、同世代の農業者でつくる青年組織「みのり会」のリーダーとしても活動されています。会設立のきっかけは、懇意にしている先輩農家から山科なすの種子を分けてもらい、さらに山科とうがらしも共に栽培されたことです。「日々農家の家に生まれ、仕事場である畑は聖域で、土の香りを残す田畑を耕し野菜などを作ることは、ひとつの文化であり誇りに思う。」と話されました。



学校給食に安全安心な味噌を提供

京都市右京区京北の(有)山国さきがけセンターは、地域の担い手として農地を守りつつ、特産の大豆や米を利用して、6次産業化に取り組んでいます。

土地オーナーから預かった農地で、大豆や米を栽培し、それを原料として、味噌、納豆、もち等の食品加工を行い、さらにJA、生協、産直団体などに販売しています。評判の「まごころ味噌」は京都市内の学校給食にも年間8t以上を提供しています。

地域の自然と環境、農村文化を守り育てる担い手、おいしさと安全の両立をテーマにしたものづくりを運営方針に掲げ、今後も幅広く事業展開しながら、京北地域を元気にしていきます。



新任の農業士さん よろしくお願ひします

【指導農業士】



東良由信さん
(京都市北区)



渡邊幸浩さん
(京都市山科区)



室武彦さん
(京都市右京区京北)

【女性農業士】



森田啓子さん
(京都市北区)



岡本由美子さん
(京都市右京区京北)



中山睦美さん
(向日市)

【青年農業士】



西岡伸晃さん
(京都市山科区)



粟津貴司さん
(京都市山科区)



齋藤圭祐さん
(京都市西京区)



西川誠司郎さん
(長岡京市)

退任の農業士さん ありがとうございました

【指導農業士】

木下彰人さん(京都市南区)

【女性農業士】

上田ひろ美さん(京都市西京区)

【青年農業士】

渡邊幸浩さん(京都市山科区)

村上 彰さん(京都市伏見区)

発行 京都府京都乙訓 農業改良普及センター

〒615-0846 京都市右京区
西京極徳大寺団子田町15
TEL 075-315-2906
FAX 075-315-2909

<http://www.pref.kyoto.jp/kyotootokuni-f/>

平成26年2月10日発行